

東海村のお財布事情

～予算と決算のしくみ&今後の財政の見通し～

税金の使われ方って気になるけど、なんか難しそうだし…と思われる方も多いかもしれません。今回は、そんな村の財政(お財布事情)について、分かりやすく紹介します。

【問い合わせ】企画経営課財政経営担当(☎282-1711 内線1334)

1 村の財政のしくみは？

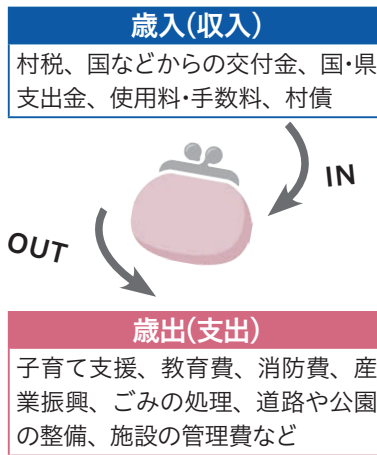
【前年度】

- ① 翌年度1年間の収支見積もりを立てる



【本年度】

- ② 事業を行う



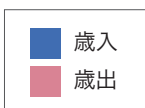
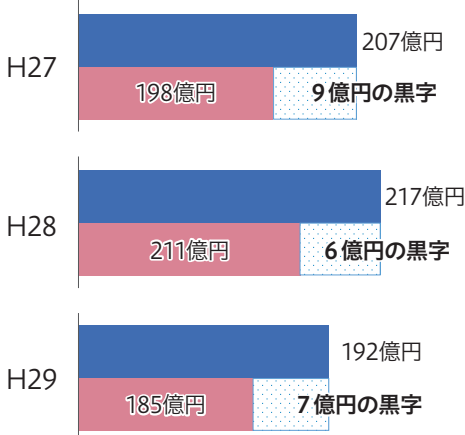
【年度が終わったら】

- ③ 1年間の収支を確認する

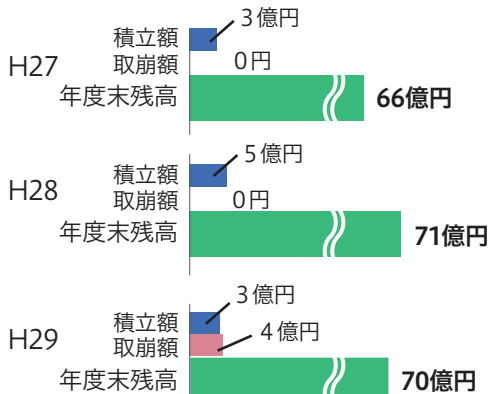


▼必ず黒字になるって本当？ ▼黒字分のお金はどうするの？

【決算】



【財政調整基金】



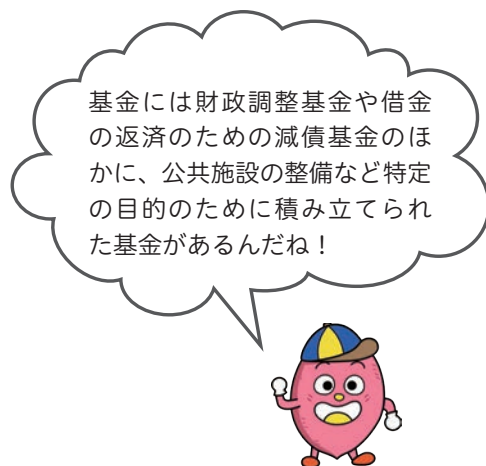
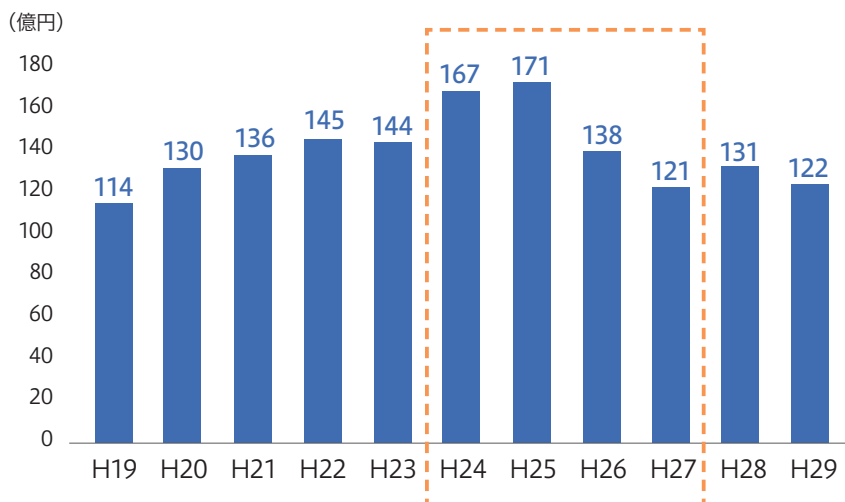
黒字額の2分の1は毎年翌年度に積み立てています。残りの2分の1は翌年度に使います。また、積み立てたお金は翌々年度以降の財源の調整にも活用します。

財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための基金なのね!



2 村の基金(貯金)はどれくらい?

【基金残高の推移】 ※基金残高は財政調整基金、減債基金、特定目的基金の合計です。



H29年度末で基金は122億円よ。村は、大規模事業の実施や住民サービス維持のために基金を計画的に積み立ててきたの。

H24～H27にかけて、東日本大震災復興交付金基金などを活用し、道路や学校等の復興事業を行いました。

3 これから先の村の財政は?

【今後5年間の予算見込み】

単位: 百万円

歳入※1	2019年(H31)	2020年	2021年	2022年	2023年
村税	10,785	10,365	9,983	10,696	10,377
繰入金	2,304	2,807	1,837	791	947
その他※2	5,956	6,108	5,989	6,197	5,981
歳入合計	19,045	19,280	17,809	17,684	17,305

単位: 百万円

歳出※1	2019年(H31)	2020年	2021年	2022年	2023年
義務的経費※3	6,682	6,637	6,543	6,404	6,308
投資的経費	3,018	3,500	2,600	2,600	2,600
その他の経費※4	9,345	9,143	8,666	8,680	8,397
歳出合計	19,045	19,280	17,809	17,684	17,305

※1…2019年(H31)は予算(案)、2020～2023年は見込みとなります。

※2…地方譲与税、交付金、国・県支出金、分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入、村債

※3…人件費、扶助費、公債費

※4…物件費、維持補修費、補助費等、出資金、繰入金、貸付金、積立金、予備費

今後5年間は、計画的に積み立てを行ってきた基金を活用することにより収支均衡を保っていきます。歳入のうち村税は、2022年に新規の大規模事業所の操業を見込んでいます。2021年以降の歳出は、大規模事業の終了により投資的経費が減ることを見込んでいます。

今後の主な事業

村では、5年の間に下記のような大規模な改修や整備を予定しています。

- ・インフラ(道路、水道、下水道)
- ・公園
- ・保育所、認定こども園
- ・庁舎
- ・(仮称)歴史と未来の交流館
- ・病院
- ・総合福祉センター
- ・幼稚園、小・中学校
- ・文教エリア駐車場

村として必要な事業への投資を行いつつ、将来においても住民が安心して暮らせる村で



山田村長

あり続けるために、健全な財政運営を行っていきます。